様式第２号（第５条様式）

（第１面）

軽微変更説明書

　　年　　月　　日

　申請に係る建築物の建築物エネルギー消費性能確保計画について、建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律施行規則第３条に該当する軽微な変更がありましたので、変更の内容を報告します。

|  |  |
| --- | --- |
| （１）建築物等の名称 |  |
| （２）建築物等の所在地 |  |
| （３）適合判定通知書又は軽微変更該当証明書番号 |  |
| （４）適合判定通知書又は軽微変更該当証明書交付年月日 |  |
| （５）変更の内容 | |
| □Ａ　省エネ性能が向上する変更 | |
| □Ｂ　一定範囲内の省エネ性能が減少する変更 | |
| □Ｃ　再計算によって基準適合が明らかな変更（計画が根本的な変更を除く） | |
| （注意）  （５）　変更の内容において、Ａにチェックした場合には第２面に、Ｂにチェックした場合は第３面に必要事項を記入した上で、変更内容を説明するための図書を添付してください。Ｃにチェックした場合には再計算に要した図書を添付してください。 | |

（第２面）

**【Ａ　省エネ性能が向上する変更】**

|  |
| --- |
| ・変更となる事項 |
| □　建築物高さ若しくは外周長の減少 |
| □　外壁、屋根又は外気に接する床の面積の減少 |
| □　空調調和設備等の効率の向上又は損失の低下となる変更（制御方法等の変更を含む） |
| □　エネルギーの効率的利用を図ることのできる設備の新設又は増設 |
| □　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
|  |
|  |
| ・上記□チェックについて具体的な変更内容の記載欄 |
|  |
| ・添付図書等 |
|  |
| （注意）変更となる事項すべてにチェックをし、その事項については、具体的な変更内容を記載した上で、変更内容を示す図書を添付してください。 |

（第３面）

**【Ｂ　一定範囲内の省エネ性能が減少する変更】**

|  |  |
| --- | --- |
| ・変更前のBEI＝（　　　）≦（　　　）  　　注意：右の（　）には基準BEI×0.9を記入すること | |
| ・変更となる設備の概要 | |
| □ 空気調和設備 |  |
| 変更内容記入欄 |
|  |
| □ 機械換気設備 |  |
| 変更内容記入欄 |
|  |
| □ 照明設備 |  |
| 変更内容記入欄 |
|  |
| □ 給湯設備 |  |
| 変更内容記入欄 |
|  |
| □ 太陽光発電 |  |
| 変更内容記入欄 |
|  |
| 添付図書等 | |
|  | |
| （注意）変更となる設備すべてにチェックをし、その設備については変更内容記入欄に概要を、第３面別紙に必要事項を記入した上で、変更内容を示す図書を添付してください。 | |

（第３面別紙）

**【空気調和設備関係】**

|  |
| --- |
| 次に掲げる（い）、（ろ）のいずれかに該当し、これ以外については「変更なし」か「性能が向上する変更」である変更。 |
| （い）外壁の平均熱貫流率について５％を超えない増加、かつ窓の平均熱貫流率について５％を超えない増加 |
| 外壁の平均熱貫流率について５％を超えない増加 |
| 変更内容　　　　□断熱材種類　　□断熱材厚み |
| 変更する方位　　□全方位　　□一部方位のみ（方位　　　　　　　） |
| 変更前・変更後の平均熱貫流率 |
| 変更前（　　　　）　変更後（　　　　）　増加率（　　　）％ |
| 窓の平均熱貫流率について５％を超えない増加 |
| 変更内容　　　　□ガラス種類　　□ブラインドの有無 |
| 変更する方位　　□全方位　　□一部方位のみ（方位　　　　　　　） |
| 変更前・変更後の平均熱貫流率 |
| 変更前（　　　　）　変更後（　　　　）　増加率（　　　）％ |
| （ろ）熱源機器の平均効率について１０％を超えない低下 |
| 平均熱源効率（冷房平均ＣＯＰ） |
| 変更内容　　　　□機器の仕様変更　　□台数の増減 |
| 変更前・変更後の平均熱源効率 |
| 変更前（　　　　）　変更後（　　　　）　減少率（　　　）％ |
| 平均熱源効率（暖房平均ＣＯＰ） |
| 変更内容　　　　□機器の仕様変更　　□台数の増減 |
| 変更前・変更後の平均熱源効率 |
| 変更前（　　　　）　変更後（　　　　）　減少率（　　　）％ |

**【機械換気設備関係】**

|  |
| --- |
| 評価の対象となる室の用途毎につき、次に掲げる（い）、（ろ）のいずれかに該当し、これ以外については「変更なし」か「性能が向上する変更」である変更。 |
| （い）送風機の電動機出力について１０％を超えない増加 |
| 室用途（　　　　　） |
| 変更内容　　　□機器の仕様変更　　□台数の増減 |
| 変更前・変更後の送風機の電動機出力 |
| 変更前（　　　　）　変更後（　　　　）　増加率（　　　）％ |
| 室用途（　　　　　） |
| 変更内容　　　□機器の仕様変更　　□台数の増減 |
| 変更前・変更後の送風機の電動機出力 |
| 変更前（　　　　）　変更後（　　　　）　増加率（　　　）％ |
| （ろ）計算対象床面積について５％を超えない増加（室用途が「駐車場」「厨房」である場合のみ） |
| 室用途（　駐車場　） |
| 変更前・変更後の床面積 |
| 変更前（　　　　）　変更後（　　　　）　増加率（　　　）％ |
| 室用途（　厨　房　） |
| 変更前・変更後の床面積 |
| 変更前（　　　　）　変更後（　　　　）　増加率（　　　）％ |

**【照明設備関係】**

|  |
| --- |
| 評価の対象となる室の用途毎につき、次に掲げる（い）に該当し、これ以外については「変更なし」か「性能が向上する変更」である変更。 |
| （い）単位面積あたりの照明器具の消費電力について１０％を超えない増加 |
| 室用途（　　　　　） |
| 変更内容　　　□機器の仕様変更　　□台数の増減 |
| 変更前・変更後の単位面積あたりの消費電力 |
| 変更前（　　　　）　変更後（　　　　）　増加率（　　　）％ |
| 室用途（　　　　　） |
| 変更内容　　　□機器の仕様変更　　□台数の増減 |
| 変更前・変更後の単位面積あたりの消費電力 |
| 変更前（　　　　）　変更後（　　　　）　増加率（　　　）％ |

**【給湯設備関係】**

|  |
| --- |
| 評価の対象となる湯の使用用途毎につき、次に掲げる（い）に該当し、これ以外については「変更なし」か「性能が向上する変更」である変更。 |
| （い）給湯機器の平均効率について１０％を超えない低下 |
| 湯の使用用途（　　　　　　　　　　　　　　） |
| 変更内容　　　□機器の仕様変更　　□台数の増減 |
| 変更前・変更後の平均効率 |
| 変更前（　　　　）　変更後（　　　　）　減少率（　　　）％ |
| 湯の使用用途（　　　　　　　　　　　　　　） |
| 変更内容　　　□機器の仕様変更　　□台数の増減 |
| 変更前・変更後の平均効率 |
| 変更前（　　　　）　変更後（　　　　）　減少率（　　　）％ |

**【太陽光発電関係】**

|  |
| --- |
| 次に掲げる（い）、（ろ）のいずれかに該当し、これ以外については「変更なし」か「性能が向上する変更」である変更。 |
| （い）太陽電池アレイのシステム容量について２％を超えない減少 |
| 変更前・変更後の太陽電池アレイのシステム容量 |
| 変更前　システム容量の合計値（　　　　　） |
| 変更後　システム容量の合計値（　　　　　） |
| 変更前・変更後のシステム容量減少率（　　　）％ |
| （ろ）パネル方位角について３０度を超えない変更かつ傾斜角について１０度を超えない変更 |
| パネル番号（　　　　　） |
| パネル方位角　□３０度を超えない変更　（　　　）度変更 |
| パネル傾斜角　□１０度を超えない変更　（　　　）度変更 |
| パネル番号（　　　　　） |
| パネル方位角　□３０度を超えない変更　（　　　）度変更 |
| パネル傾斜角　□１０度を超えない変更　（　　　）度変更 |